

「皆が笑顔で食べられる社会にするために」  
東広島市立安芸津中学校 三年 空山<sup>そらやまのあ</sup>塾<sup>あ</sup>五

皆さんはご飯を一粒残らずきれいに食べて  
いますか。ご飯はいろんなおかずと合う、と  
てもおいしくて素敵で魅力的な食べ物です。  
具材や調味料によって、カレーライスやチヤ  
ーハン、オムライスなどの人気メニューにも  
なります。

そんなお米について、幼い頃から両親に教  
えられていたことがあります。それは感謝し

てありがたく頂くことです。幼い頃からよく  
「お米を残したら目がつぶれますよ」  
と言われていました。何でも残さず食べる人  
になつてほしいという意味での言葉でしたが、  
目がつぶれるのが嫌なので気を付けていた幼  
い頃の自分を思い出します。普段、私達は当  
たり前のようにお米を食べていますが、当た  
り前ではありません。お米を作って下さる農  
家さん、食べられるように加工して下さいた  
人達、お米を買ってくれる家族。そんな人達

のおかげで、今私はお米を口にすることからできています。たくさんの方の手がかかっているからこそ、ありがたく頂くことが大切なのだと思います。

私が小学生の頃の活動で、田植えや収穫などのお米を作る作業の体験をさせてもらったことがあります。田植えでは皆で泥んこになりながら、待ちに待った収穫では汗がくになりながら作業しました。思っていたよりも大変でびっくりしました。また、社会見学でお

米の工場であるサマケに見学にも行きました。いろんな大型機械で食べられるお米に仕上げられていくのを見て、少しお米の製造に興味を持っていくのを覚えています。

近年では、お米などを作る農家さんが減り、高齢化も高まっていますと聞きます。日本のお米を守るために私達にできることはないかを考えてみました。私が小学生の時に体験した経験から、私達にできることはボランティア活動だと思いました。田植えや収穫などのお

米を作る作業は大変なだけけれど、いい経験  
になっただし、何よりも興味を持ってたり、やり  
かいかを感じられたり出来たことがとてもうれ  
しかっただからです。ホラントイア活動に参加  
することによって、私が米作りでやりかいかを  
感じられてうれしかっただように、米作りに興  
味を持つ人達が出てくるかもしれませぬ。そ  
んな人達が増えていけばお米を作る農家さん  
の減少や、高齢化の問題も解決していくと思  
います。

また、日本のお米は質が良く冷めていても  
おいしいので、海外からも高く評価されてい  
ます。なので、日本のお米を使った寿司や天  
丼などの和食料理や、きりたんぽやはらこ飯  
などの郷土料理は日本でも海外でも人気料理  
になっっています。これはとてもうれしい事で  
す。海外の人達の中に

「食べたい」

と言っただ下さる方がいらっしやるというこ  
とだからです。皆さんは日本のお米を使っただ

何の料理が食べたいですか。私は、カツカレ  
しを食べたいです。

こんなふうな食事について楽しく話したり、  
日本のお米を皆で

「おいしいね。」

と笑い合って食べたりできるように、皆で食  
品問題について考えて、一人一人が行動に移  
していくことが大切なのだと感じました。